

伊東温泉中心市街地エリア

1. 目指すべき景観像

海や山の幸と温泉の歴史が醸す街の彩り



オレンジビーチ 他

夜空を埋め尽くす 花火大会



松川 (大川)

川面の祭典 灯籠流し



だいでんがく

創作演舞 大田楽



音無神社

歴史をたどる 尻積み祭り



松川 (伊東大川)

国際交流も タライ乗り競走



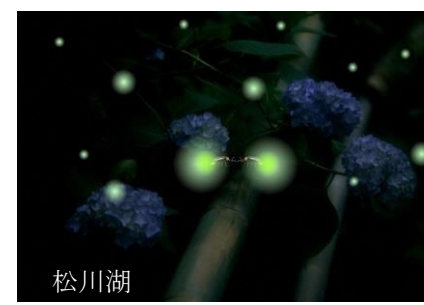
オレンジビーチ

夏の賑い 海水浴



東海館と新能

川面で舞う 祐親祭り



松川湖

ほたる観賞会

伊東の中心市街地は、「自然と温泉で紡いできた歴史や文化」と「海や山の新鮮な食材」を使った「おもてなし空間」を大切にしているエリアです。その地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。

① 温泉や歴史・文化に触れることができるスポット

(1) 温泉 日本有数の温泉地伊東



旧温泉旅館 東海館



東海館の大浴場

伊東市は古くから温泉で栄え、その湧出量も多く、戦後の日本の国民生活、文化、国際親善に果たす役割が大きい都市として、住民投票を経て、**昭和25年に熱海や別府、京都や奈良と共に、国際観光温泉文化都市に指定されました。**

今後も、先人たちの意を継いで、国際的な観光・温泉等の文化・親善を促進する地として、より一層、景観整備を進めていく必要があります。

(2) 歴史 伊東祐親と源頼朝や三浦按針、日蓮上人などの縁の地



伊東祐親像



三浦按針像

伊東祐親の娘、八重姫と源頼朝の悲話や徳川家康に命ぜられ、日本初の様式帆船を建造した三浦按針（ウィリアム・アダムス）、伊豆へ流刑となった日蓮上人など、幾多の歴史上の人物と縁があり観光素材にも恵まれています。

これらの歴史を学び、感じることができるよう景観形成を図っていく必要があります。

(3) 文化 温泉文化とイベント



芸者大学

春の桜を始め、祐親祭り、タライ乗り競走、お座敷文化大学、灯籠流し、按針祭、花火大会、箸供養、大田楽、よさこい祭り、めちやくちや市など、季節を通してイベントが行われており、観光客の集客に寄与しています。

これらのイベント風景などを伊東温泉の観光景観として守っていく必要があります。

〈景観形成の主な課題〉

- ・温泉街としての雰囲気欠けている。
- ・歴史を案内したり、学べる環境が不足している。
- ・イベントの風景を景観としてPRする必要がある。
- ・市街地を周遊する仕組みづくりが必要
- ・注意看板や案内看板、屋外広告物などが景観を阻害している。

②伊東の玄関口として中心市街地の顔となるエリア

(1) 電車の玄関口、伊東駅舎と駅周辺の商店街



伊東駅舎



駅周辺の商店街

伊東駅舎は、昭和13年に国鉄伊東線の終着駅として開業しました。80年を経過した現在、その利用者は交通手段の変化や旅行形態の変化に伴い、年々減少しています。

今後は、**街の魅力を景観と共に再検討し、駅舎の保存を含めた、伊東の玄関口としての、再開発が望まれます。**

(2) 松川（伊東大川）沿いの周遊空間



東海館



松川遊歩道

松川（伊東大川）沿いの遊歩道は、海岸の「なぎさ公園」から「按針メモリアルパーク」、「川口公園」、「藤の広場」を通り、「東海館」を望んだ後、「音無神社」まで続く、**伊東の街の代表的な散策コース**で、各種のイベントもこの周辺で行われます。特に春はさくらや柳などが歩道を彩り、川沿いの木々の緑は、伊東の街に情緒ある空間を作り出しています。

今後も、**中心市街地の憩いの場としての景観整備を進めていく必要があります。**

(3) 国道135号沿いの集客施設「道の駅」伊東マリンタウン



伊東マリンタウン

道の駅、海の駅に指定されていて、カラフルな色彩とマリーナの景観が人気の施設です。

海の幸を堪能でき、各種物産を購入できるうえ、全天候型の観光施設であるため、人気の立ち寄りスポットとなっています。

今後もより一層、快適な空間づくりを進める必要があります。

〈景観形成の主な課題〉

- ・玄関口としての魅力ある景観の創出が必要
- ・市街地を周遊する際のバリアフリー化
- ・自動販売機や空調の室外機などが、川沿いの景観を阻害している。
- ・地域全体で景観を向上させる意識の育成
- ・美しい景観の創出と誘客や産業との両立

③ 市街地周辺の自然景観を楽しめるスポット

(1) 潮風と波音を感じる砂浜と磯辺



伊東オレンジビーチ



汐吹海岸

伊東の海岸沿いは、海水浴場である伊東オレンジビーチや汐吹岩など、特徴のあるスポットもあることから、夏には海水浴や磯遊びを楽しむ家族連れで賑わっています。

また、海岸沿いに続く約5 kmの遊歩道は、潮風を楽しみながらジョギングやウォーキングをする人が日常的に利用しています。広がる海の景色は大切な自然景観であり、今後においても保全をしていかなければなりません。

(2) 歌碑が点在する万葉の小径 ～文学に触れる自然散策道～



万葉の小径

松川の散策コースから奥のダムに通じる山間の旧県道に万葉集の歌碑を設置し、ウォーキングコースとして整備しています。

途中湧水が流れる場所もあり、沢の竹藪沿いを歩く散策道ですが、あまり知られていないのが現状です。

竹林や遊歩道の保全とPRが必要です。

〈景観形成の主な課題〉

- ・市街地周辺の自然景観の保全と有効活用
- ・海岸線における産業景観（ひもの店など）の継承
- ・文学碑や地域の歴史などのPRが不足している。
- ・散策中に休憩や眺望を楽しむ場所が不足している。
- ・景観を阻害する雑木等の伐採
- ・松川湖周辺広場における鹿の食害や糞害の対策

(3) 松川(伊東大川)上流と松川湖



松川(伊東大川)上流



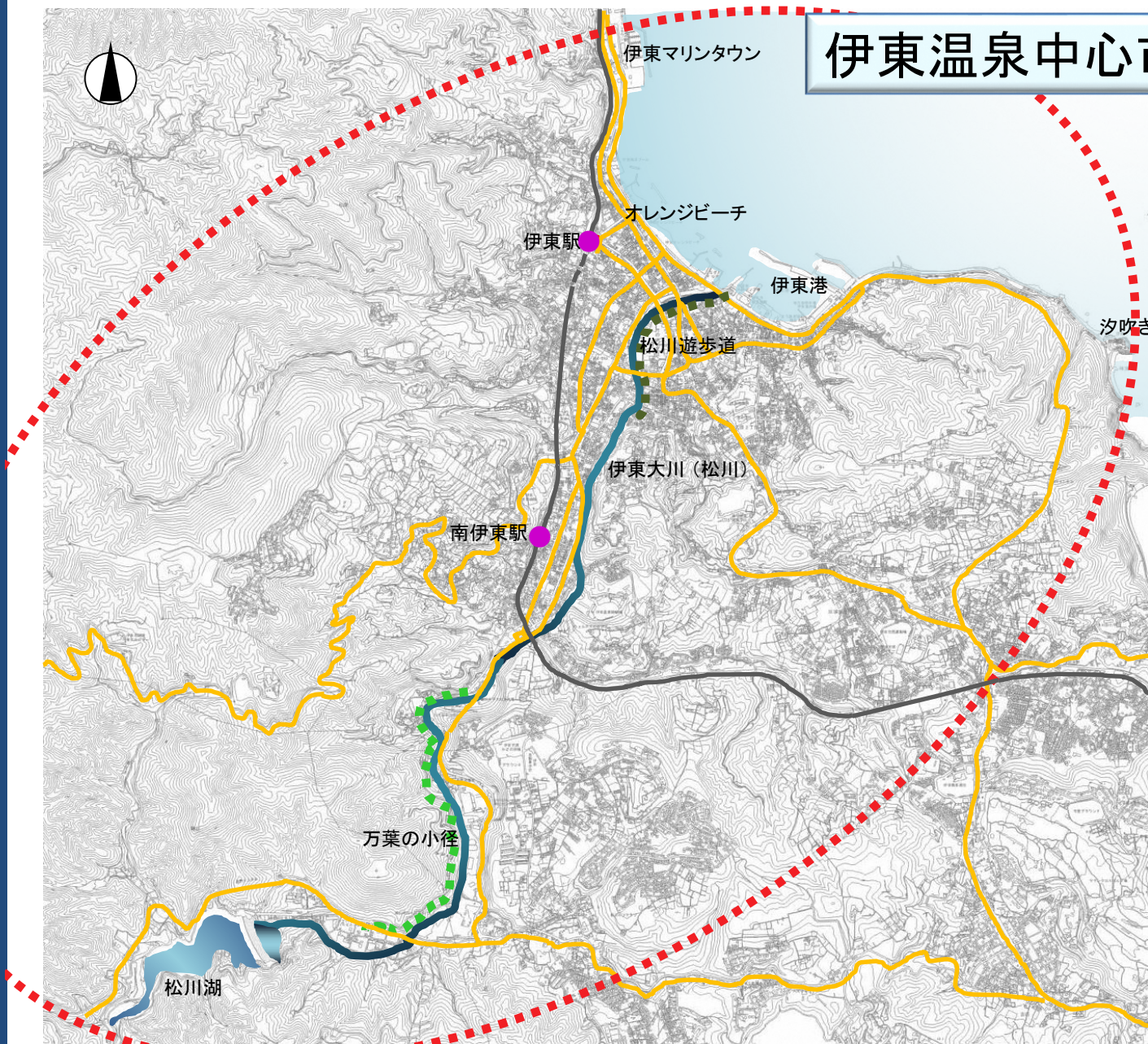
奥野ダム

松川上流は、鮎釣りを楽しむ人も多く、奥野ダムには魚道が設置され、魚の遡上にも配慮しています。

ダム湖である松川湖は、ダムの管理道路をジョギングやサイクリングで楽しむ市民も多く、梅や桜などの花見や毎年ほたるの観賞会なども行われています。

中心市街地に隣接した山間の親水空間として、景観の保全と魅力的な景観の創出を図っていく必要があります。

伊東温泉中心市街地親水エリア



- 対象エリア
- 松川遊歩道等
- 万葉の小径
- 主要道路
- 鉄道 JR・伊豆急行

地域特性や景観づくりの方向性から、景観目標と景観づくり方針を整理します。

海や山の幸と温泉の歴史が醸す街の彩り

目標 1

温泉情緒を醸す景観の創出と歴史・文化の継承



景観づくり方針

- ①温泉を感じられる景観の創出と雰囲気づくり
- ②地域に根付いた歴史・文化の継承

目標 2

地域の産業と調和した魅力ある空間の創出



景観づくり方針

- ①各種観光イベントと連携した魅力ある空間づくり
- ②食や産業をテーマとしたおもてなしの空間づくり

目標 3

景観に対する意識の向上と人材の育成



景観づくり方針

- ①景観意識の向上につながる場の提供
- ②景観意識を持った人を育てる仕組みづくり

対象エリアへの入口・アクセス部における景観形成

目標 1 ・ 温泉情緒を醸す景観の創出と歴史・文化の継承

方針 1-① 温泉を感じられる景観の創出と雰囲気づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 玄関口である伊東駅前における温泉情緒づくり (温泉を感じられるモニュメントの設置等) ● 浴衣で歩きたくなるような景観づくりと P R の実施 (松川遊歩道の改修等) ● 温泉情緒あふれる照明等による夜間景観の演出 (遊歩道沿いの街灯整備等) ● 情緒ある景観を阻害する要因の改善 (樹木剪定や誘導看板の更新等) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市、事業者 ● 市、事業者 ● 市 ● 市、事業者
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 温泉を感じられる歴史ある建造物等の保全 (東海館などの保全) ● 景観阻害要因を検討する組織づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市 ● 市

方針 1-② 地域に根付いた歴史・文化の継承

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 継承すべき歴史や文化に関連した景観の抽出 ● 美しい景観の背景にある歴史や文化の P R ● 歴史ある景観や文化を継承する方針の作成 ● 伊東市景観計画の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市 ● 市 ● 市 ● 市、市民
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の歴史や文化を学べる場づくり ● 歴史・文化を継承していくための組織づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市、市民 ● 市、市民、事業者

目標2 ・ 地域の産業と調和した魅力ある空間の創出

方針2-① 各種観光イベントと連携した魅力ある空間づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 市街地の賑わいづくりに必要なおもてなし空間の創出 (商店街と連携したイベント開催や藤の広場への店舗設置等) ● 市街地を周遊したくなる魅力的な観光スポットの整備 (按針メモリアルパークやなぎさ公園、オレンジビーチ、汐吹海岸、マリンタウンの整備等) ● 訪れた人が快適に過ごせる場の提供 (トイレの改修やベンチの設置等) ● 観光イベントなどの風景を地域景観として発信する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市 ● 市 ● 市、事業者 ● 市、事業者
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 魅力あるイベント風景などを検討する組織づくり ● 地域の人と観光客の、関わりを重視した施設作り 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市、市民、事業者 ● 市、市民、事業者

方針2-② 食や産業をテーマとしたおもてなしの空間づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の食や産業に関連した魅力的な景観の抽出 ● 優良な食や産業に関連した景観の情報発信 ● 伊東市景観計画の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市 ● 市、事業者 ● 市、市民
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 食や産業景観に寄与した人や企業の表彰及び助成制度等の創設 ● 継承すべき産業景観の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市 ● 市、事業者

目標3 ・ 景観に対する意識の向上と人材の育成

方針3-① 景観意識の向上につながる場の提供

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代を担う若者への景観に関する学習の場の提供 ● 景観推進に寄与する団体の抽出 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市、県、学校 ● 市
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動への景観意識向上のためのアドバイザーを派遣 ● 魅力的な景観の創出や維持などの取組に対する認定制度等の創設 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市、県、市民 ● 市、県、事業者

方針3-② 景観意識を持った人を育てる仕組みづくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観形成推進団体の認定 ● 伊東市景観計画の見直し ● 景観推進に寄与した人や組織の表彰 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市、市民、事業者 ● 市、市民 ● 市、市民
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観を考えるための交流の場づくり ● 重要景観地区や樹木の指定 ● 地域の景観推進活動等への助成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市、市民、事業者 ● 市、市民、事業者 ● 市

対象エリアの入口・アクセス部における景観形成

当該エリアの入口、あるいはアクセス道路となる箇所（区間）で実施する景観形成を以下に示します。

	取組み	実施主体
短期	● 景観を阻害する落書きや、違反屋外広告物等への対応 （国道135号、県道伊東修善寺線、伊東停車場線、JR伊東線、伊豆急行線、他）	● 市、県土木事務所



伊東温泉中心市街地エリア

温泉情緒を醸す景観の創出と歴史・文化の継承

市街地の景観
伊東ならではの自然や歴史と温泉文化を継承し、その景観を後世に大切に守り伝えていく。

地域の産業と調和した魅力ある空間の創出

魅力ある景観づくり
また訪れたいくなる、心に残る景観、食と産業景観の育成を目指す。

景観に対する意識の向上と人材の育成

人づくりと仕組みづくり
景観意識を向上させ、市民による景観づくりを目指す。

- - - - - 松川遊歩道
- - - - - 万葉の小径
- 主要道路
- 鉄道JR・伊豆急行

- ・訪れた人が快適に過ごせる場の提供
- ・食や産業に関連した魅力的な景観の抽出
- ・伊東駅前における温泉情緒づくり
- ・浴衣で歩きたいくなる景観づくり
- ・情緒ある景観を阻害する要因の改善
- ・歴史ある建造物等の保全
- ・文学碑など歴史の継承とPR
- ・イベント風景の発信(ほたる観賞会)
- ・周遊したくなる魅力的な観光スポットの整備(全体)
- ・賑わいづくりに必要なおもてなし空間の創出
- ・観光イベント風景の発信
- ・温泉情緒あふれる夜間景観の演出
- ・親水エリアとしての景観形成